



2023年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績(2022年9月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,241	5.8	227	2.1	230	3.0	148	81.3
2022年8月期第3四半期	1,172	1.9	232	0.2	237	5.6	793	81.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	69.05	
2022年8月期第3四半期	369.37	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	7,648	5,299	69.3
2022年8月期	6,825	5,258	77.0

(参考)自己資本 2023年8月期第3四半期 5,299百万円 2022年8月期 5,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		20.00		30.00	50.00
2023年8月期		20.00			
2023年8月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,730	13.4	270	19.4	275	12.1	180	77.4	83.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期3Q	2,901,000 株	2022年8月期	2,901,000 株
期末自己株式数	2023年8月期3Q	752,260 株	2022年8月期	752,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期3Q	2,148,740 株	2022年8月期3Q	2,148,740 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ情勢の長期化、継続する物価上昇による消費の減速など、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、業績は厳しい状況で推移しました。賃貸・倉庫事業におきましては、2023年4月からは大型物流施設カワサキテクノプラザが本稼働し、今後の安定した収益の基盤となるべくスタートを切りました。また、これまで賃貸・倉庫事業に含まれておりましたホテル事業については、その運営を株式会社フラット・フィールド・オペレーションズに委託しておりましたが、2023年3月末をもって契約を終了し、4月より当社において直営にて営業することになりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高1,241,128千円（前年同期比5.8%の増加）、営業利益227,387千円（前年同期比2.1%の減少）、経常利益230,234千円（前年同期比3.0%の減少）、四半期純利益148,364千円（前年同期比81.3%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、継続する物価上昇による消費の落ち込み等により、売上の影響を受けております。引き続き販売体制の再構築、コストダウンの推進、販売在庫品目の見直し等で収益体質の改善に向けて取り組んでまいりましたが、減収減益となりました。その結果、売上高は408,731千円（前年同期比7.6%の減少）、営業損失は9,180千円（前年同期は13,887千円の営業利益）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、経営資源の有効活用と更なる事業拡大に取り組んでおります。2023年4月に大型物流施設カワサキテクノプラザが稼働したことにより、業績に貢献いたしました。その結果、売上高は795,701千円（前年同期比8.9%の増加）、営業利益は263,862千円（前年同期比20.9%の増加）となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、ホテルレイクアルスターを2023年4月に直営化したことにより、当四半期より報告セグメントを新設いたしました。ホテルレイクアルスターは、宿泊、宴会、レストランの3部門が営業の柱となっており、南海本線泉大津駅前という立地を生かし、地域密着で今後の収益化に取り組んでまいります。なお、当第3四半期累計期間において、初期費用が発生した結果、売上高は36,696千円、営業損失は27,294千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて126,543千円(13.3%)減少し、825,642千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が370,496千円減少し、商品及び製品が80,925千円、その他に含まれる未収入金が160,540千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて949,482千円(16.2%)増加し、6,823,194千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物（純額）が1,553,619千円増加し、建設仮勘定が611,115千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて72,131千円(15.3%)増加し、544,157千円となりました。この主な要因は、短期借入金が100,000千円、1年内返済予定の長期借入金が46,080千円、その他に含まれる前受金が20,160千円増加し、未払法人税等が105,516千円減少したことによるものであり

ます。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて709,879千円(64.8%)増加し、1,805,619千円となりました。この主な要因は、長期借入金が573,260千円、資産除去債務が151,284千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて40,927千円(0.8%)増加し、5,299,060千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を148,364千円計上したものの、配当による減少107,437千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月1日のホテルレイクアルスターの直営化等による影響を踏まえまして、2022年10月13日の「2022年8月期決算短信」で公表いたしました2023年8月期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	619,333	248,837
受取手形、売掛金及び契約資産	38,979	71,660
商品及び製品	175,461	256,386
原材料及び貯蔵品	32,582	30,736
その他	86,622	218,298
貸倒引当金	△792	△277
流動資産合計	952,186	825,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,998,525	3,552,144
機械装置及び運搬具（純額）	235,326	215,684
土地	2,571,366	2,571,366
建設仮勘定	614,129	3,014
その他（純額）	13,273	9,122
有形固定資産合計	5,432,622	6,351,331
無形固定資産	20,344	20,077
投資その他の資産	420,745	451,785
固定資産合計	5,873,712	6,823,194
資産合計	6,825,898	7,648,837
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,722	11,846
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	181,390	227,470
未払法人税等	110,142	4,626
賞与引当金	1,102	2,907
その他	174,667	197,306
流動負債合計	472,025	544,157
固定負債		
長期借入金	449,600	1,022,860
役員退職慰労引当金	8,816	5,966
資産除去債務	223,439	374,724
その他	413,883	402,068
固定負債合計	1,095,740	1,805,619
負債合計	1,567,765	2,349,776

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	4,703,112	4,744,039
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,258,133	5,299,060
純資産合計	5,258,133	5,299,060
負債純資産合計	6,825,898	7,648,837

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	1,172,551	1,241,128
売上原価	668,540	713,431
売上総利益	504,010	527,696
販売費及び一般管理費	271,789	300,308
営業利益	232,221	227,387
営業外収益		
受取手数料	3,547	1,464
補助金収入	-	2,213
受取家賃	900	1,380
その他	1,809	1,752
営業外収益合計	6,257	6,811
営業外費用		
支払利息	864	3,289
為替差損	204	674
その他	0	-
営業外費用合計	1,069	3,964
経常利益	237,409	230,234
特別利益		
固定資産売却益	905,176	-
圧縮未決算特別勘定戻入額	69,547	-
特別利益合計	974,724	-
特別損失		
固定資産売却損	-	1,285
固定資産除却損	-	91
特別損失合計	-	1,377
税引前四半期純利益	1,212,133	228,857
法人税、住民税及び事業税	160,501	80,873
法人税等調整額	257,950	△379
法人税等合計	418,451	80,493
四半期純利益	793,682	148,364

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	442,149	730,401	1,172,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	442,149	730,401	1,172,551
セグメント利益	13,887	218,333	232,221

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	408,731	795,701	36,696	1,241,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	408,731	795,701	36,696	1,241,128
セグメント利益又は 損失(△)	△9,180	263,862	△27,294	227,387

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。